

負担を減らし、メリットを増やす

自治会運営のアイデア

担い手の高齢化、新規会員が少ないなど、地域コミュニティの基盤である自治会にはさまざまな課題があります。一方で、運営方法を工夫することで負担を減らしたり、楽しんだりしている自治会もあります。今号では、運営の課題を解決した事例や好評を博しているイベントを紹介。ぜひ運営のヒントにしてください。

岡市役所つながり推進課地域コミュニティ係 ☎(260)5162 FAX(260)5138

役員や会員の負担を軽減！

自治会運営の「モヤモヤ」を解決するため、さまざまな工夫をしている坊の窪自治会長(深見地区)の家永稔之さん、千本桜自治会長(渋谷地区)の大山優さんにお話を伺いました。



坊の窪自治会長 家永稔之さん

回覧板へのモヤモヤ



これで解決！

LINE回覧板

(坊の窪自治会)

坊の窪自治会の約8割の世帯が登録。自治会が負担する利用料は月額5,000円(紙・印刷代は減少)。回覧機能のほか、災害時の連絡手段としても期待されます。

- 同時に全世帯へ配信できる(予約配信やリマインド配信も)
- 印刷、取りまとめ、回覧板を届けるなどの手間が省ける
- いつでも資料を見返すことができる

※希望者には従来の回覧板を残しています。

リサイクルステーション 立ち合い当番へのモヤモヤ



これで解決！

防犯カメラにお任せ！

(坊の窪自治会)

会員の負担が大きいため、自治会費で防犯カメラを購入。24時間365日稼働し、夜間の資源の持ち去り対策もできるようになりました。



会計事務へのモヤモヤ



これで解決！

会計ソフトを活用

(千本桜自治会)

無料の会計ソフトを活用。スマホでも簡単に入力できるので、会計担当者の作業が格段に楽になりました。当たり前のように引き継がれているものも、柔軟に変えてみることで、無理のない運営になります。



千本桜自治会長 大山優さん

メリットたくさん！
好評イベント

「子ども110番の家」に「トリックオアトリート！」

(入村・梅ヶ丘・坊の窪自治会)

子どもがいざというときに助けを求めて駆け込める「子ども110番の家」。制度は知っていても、見知らぬ人の家に駆け込むことは難しくそうです。そこで、ハロウィンイベントをひと工夫。関係者の協力を得て、実際に家を訪ねてお菓子をもらい、顔の見える関係を作る企画をしました。



「自治会館がフリースペースに」

(坊の窪自治会)



限られたときだけ使われていた自治会館。鍵の管理方法を変えることで多くの会員が使えるようになり、健康麻雀、自習、カラオケなど、さまざまな地域活動の拠点となっています。

鍵は、自治会館に保管ボックスを置き、一時的な暗証番号の発行・入力でボックス解除。予約から入退館までをオンライン予約システムで運用しています。

「買い取りフェア」

(草柳・千本桜・下福田北部自治会)

自治会と買い取り事業者が協力して開催。公園などの会場に不用品を持ち寄ってもらい、買い取り事業者がその場で買い取ります。持ち運びが難しい大きな家具などは、訪問サービスも。近所で安心して利用できる好評です。また、売り上げの一部は自治会の収入としています。



「子どもが企画運営する子ども縁日」

(下福田北部自治会)



子どもたちが企画と運営を担う子ども縁日を開催。チョコバナナやフランクフルトを作ったり、輪投げやくじのコーナーで店番したり。大人は後ろでやさしくサポートし、会場は大賑わいで笑顔があふれていました。

自治会に入っている人も、入っていない人も！

自治会や地域コミュニティへの考えをお聞かせください

今後の地域コミュニティ活動の参考にするため、アンケートを実施します。ご協力をお願いします。

回答方法▶3月31日(火)までに、e-kanagawa電子申請から。



自治会に加入するには

電話で大和市自治会連絡協議会事務局 ☎(260)5130へ。同協議会のホームページからも可。

